

# 地理歴史科 学習指導案（略案）

（第3時：LRT が都市にもたらすもの）

令和5年11月16日（木）第4限

県立杉戸高等学校 2年1組

教諭 山家 大輝

## 1 単元名：都市・居住問題

## 2 単元について（学習内容の概要）

世界にはさまざまな規模の都市があり、近年は、世界の各地域で都市人口が急増している。一方、日本などの先進国は郊外のみならず、都市を含めた人口減少も問題となっている。国や地域によって人口問題と関連した都市・居住問題の現状を知り、どのような対策が行われているかについて学ぶ。

## 3 単元の目標及び評価規準

### （1）単元の目標

世界各地で見られる居住・都市問題を基に地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解し、その課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。また、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。さらに、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

### （2）単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・都市の発達、大都市の形成と分布、都市内部の機能と構造について理解している。 ・都市/居住問題についての知識を獲得している。	・都市の発達、大都市の形成と分布、都市内部の機能と構造について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・都市/居住問題について自らの意見を持つことができる。	・都市/居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

## 4 生徒観（学習状況の実態）

多くの生徒が授業に熱心に取り組み、考査に向けて地道に学習を進めている。しかし、答えのない問題について考える機会は少ないように感じられる。本時では、資料をどう生かすかを考え、自らの意見をまとめ発信する力を身につけさせたい。

## 5 指導計画

時	指導内容等
1	世界の都市の発達
2	発展途上国と先進国の都市・居住問題
3 本 時	地域で異なる都市・居住問題への取り組み

## 6 本時の学習について

⇒ 次項「最終報告書」に詳細記載

# 令和5年度 埼玉県高等学校初任者研修 授業力向上研修 最終報告書

初任者ID	R05K1028	教科	地理
学校名	杉戸高等学校	氏名	山家 大輝

授業日時	令和5年11月16日	教科・科目	地理総合
学年・年次	2年1組	生徒数	38名
実施内容	地域で異なる都市・居住問題への取り組み	本時／この内容を扱う全時数	3/3
教科書及び教科書会社	『高等学校 新地理総合』帝国書院		

授業のねらい(本時の授業を通じて生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につなげるために行うか)

★ここから変更

昨今の都市計画を行う上での課題について知り、今後杉戸高校が立地する杉戸町や生徒が住む地域の都市問題に対してどのような取り組みを行っていくことが有効かを考える際の一助となることをねらいとしている。地理総合の授業だけでなく、総合的な探究の時間との関連も意識している。

また、都市問題解決の一つの手段としてのLRTについて知ることを通して、都市の公共交通の在り方を考えてもらいたい。

メインの課題(授業の柱となる、ジグソー活動で取り組む課題)

LRTが地域活性化に寄与する可能性  
～宇都宮LRTがもたらしたもの～

生徒の既有知識・学習の予想(対象とする生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出すことができそうか。また、どの点で困難がありそうか。)

都市計画やLRTについて知っている生徒はほとんどいないように思われる。今回のジグソー法を行うにあたって前提知識のない生徒でも、有意義な時間を過ごせるよう準備をしたい。前回のように、ワークシートの内容をそのままとめることで答えがでるようなものではなく、その場で考え、知識を再構成するプロセスに戸惑う生徒が出てくるだろう。

期待する解答の要素(本時の最後に生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準)

- 交通指向型のコンパクトシティは、中心拠点や生活拠点を公共交通で繋ぎ、生活サービス機能と居住を集約・誘導し、人口を集積させることを目的としている。
- 宇都宮の街づくりにLRTが選ばれたのは、宇都宮の人口規模や中心拠点と生活拠点が離れている地域がある等の地理的要因によるところが大きい。
- LRT開業により、駅前の賑わいの創出、パークアンドライドの浸透、沿線人口の増加、地価上昇などをもたらした。

各エキスパート<対象の生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください>
<p>A「宇都宮市が抱える課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮市街地から芳賀工業団地への渋滞</li> <li>・上記の渋滞には鬼怒川を渡る橋の少なさが影響している</li> </ul> <p>B「公共交通を中心とした街づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パークアンドライドシステム</li> <li>・バスとの協力による末端輸送(トランジットセンター)</li> <li>・デマンド交通</li> </ul> <p>C「宇都宮 LRT のルートについて考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・需要を拾うために、工業団地や住宅地、運動場、教育機関を通るようなルートをとった。</li> <li>・宇都宮 LRT の開業によって、沿線開発による沿線人口の増加、地価上昇が起こった。</li> </ul> <p>シグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容</p> <p>杉戸町や自分の住んでいる自治体の都市問題とその解決策について考える。</p>

#### 本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで	日常経験 都市と郊外の成り立ち(中2) 首都・東京と各地との結び付き(中2) 世界の都市の発達(前々時)	都市の発達、大都市の形成と分布、都市内部の機能と構造について理解している。
前時	発展途上国と先進国の都市・居住問題	発展途上国の都市・居住問題、先進国の都市・居住問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。
本時	地域で異なる都市・居住問題への取り組み	宇都宮のケーススタディから、公共交通に着目した街づくりについて理解し、自らの住む自治体の都市問題を考える一助にできる。
次時	世界の人口	世界の人口分布と人口増加の傾向、人口ピラミッドからみる国や地域人口の特徴について理解している。
この後	発展途上国と先進国の人口問題 地域で異なる人口問題への取り組み	発展途上国の人口問題、先進国の人口問題、人口移動と移民について、都市問題との関連を含め、多面的・多角的に考察し、表現している。

<p>上記の一連の学習で目指すゴール</p> <p>これまでなんとなく捉えていた「都市」の見方を深化させ、昨今の都市問題について様々な情報を基にその解決策について自分なりの意見を持つことができる。また、都市問題と人口問題について有機的に結びつけて考えることができる。</p>
---

## 本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
8分	<p>〈導入〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の公共交通の衰退について考える</li> <li>・宇都宮 LRT についての概要を知る</li> <li>・LRT を用いた街づくりはその街にどのような変化をもたらすかについて、前時に扱ったストラスブルやポートランドの事例を基に考え、ワークシートに記入する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時のテーマ：宇都宮の LRT は沿線地域にどのような影響をもたらしたのか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少と公共交通の衰退の関係について説明する</li> <li>・絵や図を使ってもよいことを伝える</li> <li>・本時のテーマは黒板に掲示しておく</li> </ul>
12分	<p>〈エキスパート活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自担当するワークシートに取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜机間指導を行う。</li> </ul>
15分	<p>〈ジグソー活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班で「宇都宮の LRT を用いた街づくり」の影響についてワークシートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜机間指導を行う。</li> </ul>
10分	<p>〈クロストーク〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各班の意見を発表し合い、意見交換を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各班の発表に対して、質疑・意見を募る</li> </ul>
10分	<p>〈まとめ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通指向型コンパクトシティとは何か。</li> <li>・クロストークで出た意見も参考にしながら、各自の意見をワークシートにまとめる。</li> <li>・本日の感想をグループでシェアする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や図を使ってもよいことを伝える</li> <li>・宇都宮市の LRT を用いた街づくりは、コンパクトシティ政策の一環であることを伝える。</li> <li>・あくまでも LRT は地域活性化の一つの手段に過ぎず、各自治体に合った施策を考えていくことの重要性を伝える。</li> </ul>
(宿題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の住む自治体の都市問題」について考えてみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究の時間での探究活動において、様々な視点から杉戸町の課題を考えることの重要性を伝える。</li> </ul>

### グループの人数や組み方

3～4人組で行う。今回は前回とは異なり、その場でグループを作成する。

## 《実践後の振り返り》

### 1. 生徒の学習の評価（授業前後の変化）

(1) 3名の生徒を取りあげて、同じ生徒の授業前と授業後の課題に対する解答がどのように変化したか、具体的な記述を引用しながら示してください。実技教科等で生徒の直接の解答が取れない場合は、活動の様子の変化について記してください。

生徒	授業前	授業後
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量が増える。</li> </ul>	駅から駅までの距離が遠いので、その間を車で移動すると、みんな同じ道を通るので、渋滞が起こるから、パークアンドライドを目標に来るまでの移動を短くし、公共交通機関での移動を促す。そして混雑しやすいところを多くの人を運べる LRT で結び、それ以外のところをバスで結ぶ。そうすると、小さい範囲で、効率的に人が移動できる。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客の増加の期待</li> <li>・通勤ラッシュの減少</li> <li>・車の渋滞の減少</li> </ul>	交通が集中している部分、していない部分や経済の回るところ、回っていないところがある。それを解決するために駅から需要のあるところに交通網をつなぎ、街の活性化、そしてコンパクトシティを目指した。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街の活性化</li> <li>・街の利便性 up</li> <li>・LRTを導入して認知度 up</li> </ul> 	<small>かについて、皆さんの意見をまとめてみてください。(絵や図を用いても可)</small> ＊道路の渋滞解消 ＊車と連一度に大量の人を運ぶことができる。十字郡宮の売名？ ＊LRTは(1で)どこから交通(バス、タクシー)が繋がっているというのかわかりづらく感じた。 ＊活性化!! 人口増 → 街のサイズが小さくなる! コンパクトシティ!!

(2) 生徒の学習の成果について検討してください。授業前、授業後に生徒が答えられたことは、先生の事前の想定や「期待する解答の要素」と比べていかがでしたか。

エキスパート活動では、机間指導中にこちらの欲しいキーワードが多く聞こえてきた。また、ジグソー活動では、イラスト等を用いながら各グループよくまとめられていた。しかしながら、発表の際にはグループのまとめを端折って話す生徒が多くおり、エキスパート活動やジグソー活動で出た重要な意見が埋もれてしまったことは残念であった。発表をどのように行うかについては改善の余地がある。ただし、エキスパート活動、ジグソー活動、グループや個人のまとめでは、こちら側の期待する解答の要素が見られた。

### 2. 生徒の学習の評価（学習の様子）

生徒の学習の様子はいかがでしたか。事前の想定と比べて、気がついたこと、気になったことをあげてください。

エキスパートによっては、地図から読み取ることがメインのものがあった。普段から地図を意識している生徒が少ないようで、苦戦している生徒が多く見られた。また、普段から移動手段として鉄道を利用する生徒は少なく、前提を理解することが少々苦しかったように感じられた。

今回は事前にこちら側で座席を指定せず、その場でグループを作成して行った。クラスによっては、グループ作成の際に人間関係等で時間を要するケースが散見された。

### 3. 授業の改善点

生徒の学習の成果や学習の様子を踏まえ、次の 3 点について今回の授業の改善点を挙げて下さい。

- (1) 授業デザイン(課題の設定、エキスパートの設定、ゴールの設定、既有知識の見積もりなど)
- (2) 課題や資料の提示(発問、資料の内容、ワークシートの形式など)
- (3) その他(授業中の支援、授業の進め方など)

(1) 今回、「宇都宮 LRT から考える地方の公共交通がもたらす影響」をテーマにジグソー法公開授業を行った。前時にフランスのストラスブールを事例に路面電車を生かした街づくりについて扱っていたこと、また、杉戸高校の立地する「杉戸町の課題とその解決策を探究する」という総合的な探究の時間との関連もあり、比較的興味を持って取り組んでいた生徒が多いように思われた。また、1 回目のジグソー活動では、答えがある程度限定される問いを立てたが、今回は幅広い意見が出てくるようにテーマを設定した。そのため、1 回目よりも多くの意見が生徒の側から挙げられた。最後に、既有知識の見積もりについて、宇都宮 LRT を知らない生徒や、ストラスブールの事例のみでは路面電車を用いた街づくりをイメージすることが難しい生徒がいたことが、授業終わりのアンケートから分かった。そのため、次にジグソー活動を行うクラスから宇都宮 LRT についての簡単な動画を視聴してもらい、前提知識を補うための工夫を取り入れた。

(2) (1)で記述したように、今回は幅広い意見が出るようなテーマ設定を行ったため、より抽象的な問いとなり、どのようなまとめをするべきか悩む生徒が見られた。また、ワークシートの記述も減らし、資料をメインとしたため、何を読み取るべきか(問いに対する意見を組み立てるために必要な要素は何か)苦戦している生徒が多く見られた。しかしながら、生徒は自分なりに「ああでもない、こうでもない」と熟考しながらワークシートに取り組んでおり、生徒は思考力を鍛えられたのではないかと感じる。また、エキスパート活動からジグソー活動に移ってワークシートを持ち寄って初めて、そのワークシートの意図していることが分かるセクションもあり、エキスパート活動で苦戦した生徒も見られた。エキスパート(A, B, Cの3セクション)によって難易の差が出てしまったことは課題である。

(3) 前回のジグソー法公開授業で、議論が進んでいないように思われたグループに多く声掛けをしてしまった反省を生かし、今回は敢えてほとんど声掛けを行わずあくまでも生徒が自分で考えて一つの仮説を出せるように意識した。実際に今回のジグソー法公開授業では、議論が進んでいないように見えたグループであっても自分たちなりの一つの意見をまとめられていた。しかしながら、まとめの際に A、B、C それぞれのセクションをジグソー活動で箇条書きにまとめるグループが見られたため、途中で声掛けを行うことで、3 つのセクションすべてのまとめを作成するようにした。また、エキスパート活動、ジグソー活動それぞれにおいて、班をまたいで相談をしている生徒が見られたため、そのことをどこまで許すのかについては今回の課題である。

クロストークの場面で、今回は意見を述べた生徒に対してさらに別の生徒を指名して質疑・コメントを述べる場を設けた。しかし、質疑・コメントをする生徒がなかなか話すことが難しいケースが見られたため、以降のクラスでは発表者が発表する際にメモをするよう指示し、スムーズに議論が進むよう支援した。

最後のまとめでは、グループ活動を巡回する際に聞こえてきた重要な発言を拾いながら話ができるようにしていきたい。